

サークル学習会のお知らせ 【セクシュアリティ124号を読み合う会 第5回】

実践 絵本で育む障害児・者のセクシュアリティ

永田三枝子さん

日時：10月22日（木） 19:30～21:00 オンライン開催

【永田さんからのコメント】

福祉型専攻科「More Time ねりま」での実践です。これまでしんどいことをたくさん経験してきた青年たちにまず必要だったのは、自分を見つめて受け止め、仲間を見つめて受け止めることでした。その一つが絵本「ぼくのニセモノをつくるには」を使ったこの取り組みです。困った時はいつも絵本に助けってもらってきました。

※**サークル会員限定**の学習会です。学習会の申し込みは必要ありませんが、**サークル会員以外の方で参加をご希望の方は、サークルに入会してご参加ください。**

※サークル会員の皆様には、ぜひらるの会員一斉送信メールにて、ZOOMのURLをお知らせいたします。ぜひらるに登録されていないサークル会員の方は、メールでお問い合わせください。（shougai.seikyoku@gmail.com）

※「季刊セクシュアリティ124号（発行 エイデル研究所）」は、「障害児・者のセクシュアリティ最前線」の特集号で、サークル会員の実践が数多く掲載されています。124号をお持ちでない方は、この機会にぜひご購入いただきますようお願いいたします。

[出版物データベース | エイデル研究所](#)

[セクシュアリティ_チラシ124号_20260401](#)

セクシュアリティ124号を読み合う会 第4回参加者の感想より（抜粋）

- 本の実践報告よりもはるかにゆたかな中身をお聴きできました。排泄も文化、どう考えるかも様々ですね。
- 私も肘井さん同様、ざっくりとしか見ていません。しかし、発達の視点から子どもの状態を観察し、アプローチをすることの大切さを学びました。
- 特別支援学級では給食前の日常生活指導の時間に毎日指導をしていたことを思い出しました。学級は学校に1学級しかないことが多いので、校長先生や教頭先生、教務等男性の先生にHELPをお願いしていましたが、低学年の毎日の指導でほぼできるようになっていました。
- 支援学校も福祉サービスも、支援者は女性が多くて利用者は男性が多いのがゆえの行き詰まりはとても良く分かります。私も、修学旅行と一緒に引率して男性の校長が「〇〇くんは膝までズボンを下げておしっこするんやなあ。個室に行くよういうか迷ったけど、この新幹線乗り換えのタイミングでより時間なかかる方には行かせきらんやった」と話してくれたことがありました。一生使う大切なことだからこそ、大人も子どもも不安なく誰もが学べる方法を見つけていきたいです。また、模型を理解でき

るのにも発達が必要で、実物が一番というのも、確かに!と確認できました。

- 立ち便所と洋式のトイレでの排尿で、こんなに活発に論議できるのがとても楽しかったです。排尿でのペニスを持ち、出し切って振る、包皮を戻す。この一連の排尿行動で、残尿が減り下着を汚さず、自己肯定感が上がるという事例がとても勉強になりました。更年期以降の大人でも、尿漏れや尿臭は外出が減ったり自己肯定感が下がるので、大人にも子供にも共通する話題ですね。また次回の勉強会も楽しみです。
 - このような素晴らしい取り組みをしてくださるデイサービスに通える子どもたちは幸せだと思いました。元教員としては、もっと学校で担える、協力できる部分もあるだろうに…と思うと残念な気持ちにもなります。学校、保護者、デイサービスなどはどのように連携していけるのか…考えていきたいと思います。
 - 排尿指導、奥が深いです。6年前から特別支援学校に勤務する養護教諭です。養成段階でこのような学びは全くなく、現職教育でも学ぶ機会がなかったので驚きの連続です。現場の声を反映したカリキュラムにならないのか、教員養成の不備を訴えていかなければと考えさせられています。プライベートゾーンに関わることは、隠さず、公にして、学ばないと改めて思いました。
 - 立ち便器は、オープンスペースのため防犯的な要素も含めて、男児が排尿をどのようにしているか新年度に保護者とチェックする機会の重要性を感じました。
 - 放デイで、発達年齢と実践を結びつけておられる所は実は多くないのかも…と羨ましく思うような実践報告でした。排泄の深掘り、面白かったです。次男の入所施設とも共有したいと思います。ちなみに長男は座って排尿するときと、立ち便器での排尿を実践してくれました。みなさんの声を聞きながら『なるほど!』と言っていました。親も見逃してる部分が多いので、確認できてよかったです!みなさんのおかげです
 - 発達段階、発達保障。今日の私には痛いほど突き刺さることばです。軽度知的障害の高等部生徒の発達段階もしっかりと学ばなくてはいけない肘井です。今日の郡さんの排尿指導からの話し合いは、とても面白かったです!またやりたいですね。
 - 私も常々学校の先生方に少しでもいいので発達の視点を持っていただきたいと思っています。排尿指導の実践はまだ奥が深そうです。明日、中学校支援学級で出前授業をします。ペニスを持つての話をしようと思っていましたが、考えることが増えました。ぜひまた深めたいテーマです。
 - 本日は心身不調だったので、どうしようかと思っていたのですが、やはりたくさん学びがあって、参加して本当に良かったです。郡さんの放課後デイでの実践、すばらしいなあと思って聞いていました。今回排尿指導の話では私自身は指導したことがないので具体的なお話参考になりました。また、生活の中での丁寧な指導、具体的な言葉かけ、参考にさせていただきたいと思います。
- 男性のことはわからないことも多く、この場でいろいろと聴けて良かったです。

全障研にもさっそく入会しました。学習会の情報もありがとうございます。発達段階の特別支援学校の教員の認識、私がいた高等部も肘井さんがおっしゃっていたような感じでした。。。

- 発達段階を踏まえながら丁寧な支援、そしてスタッフにも子ども達が帰ってから支援について丁寧に説明して共通理解を図りながら進めていることがとても大切なことであると思いました。でも、それは学校現場では、なかなか難しい面でもありましたが。今日は、排泄指導に関して色々な話を聴くことができて良かったです。これからも考えていきたいです。
- 司会の肘井さんの下で、発達段階と排尿指導にしっかりと焦点を絞った論議になったのは有意義であった。排尿の自立に向けての様々な指導、手立ての工夫も有意義であった。最後の方で個室の排尿で良いではないかというのも、今の社会状況（特に家庭での洋室トイレ）と併せて柔軟に、というのも有りですが……。やっぱりペニスをしっかり持てることは重要と思います。
- 発達については学べば学ぶほど、おもしろいけど難しさも感じて、新たな疑問がわいてきます。発達段階に応じた学習内容を考えるのも大切だけど、〇〇歳だから無理！と決めつけるのも違うし、検査の数値だけでは見えないこともたくさん。発達と生活や障害も含めた私たちの見る目を鍛えていかなくてはいけませんね。みんなで、「こうじゃないのかな？」「どう思う？」と子どもを真ん中にして語り合う時間が大切かなと思います。この学習会は、実践を一つひとつ取り上げて学び合うので、いろんな視点があって、もっと深めたいと思うことが出てきます。次回も楽しみです。
- 私自身もまた新たな視点もいただきました。発達から子どもたちを見て支援することが当たり前になっている人と、そうでない人の違いは難しいなと（笑）もっと発達からセクシュアリティを考える事を、今後は考えていきたいと思いました。